

法人(事業所)理念		<p>【企業理念】 スタッフの笑顔が子供とその家族の笑顔を作る。笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する</p> <p>【企業ビジョン】 夢と希望を持って福祉、介護職に携わり三方良しの精神で係る全ての人を幸せに</p>					
支援方針		<p>① 通所児童の円滑な発達支援と社会的自立の促進 ② 厚生労働省、こども家庭庁の掲げる5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を網羅し、質の高い支援の実現する ③ 各活動を通し、子どもたちの自尊心・自己肯定感・自己効用感の醸成を図る ④ 様々な地域交流機会を提供することでインクルージョンの推進を行う</p>					
営業時間		9 時	00 分	18 時	00 分	送迎実施の有無	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時に手洗い、うがいをし習慣化するとともに、始まるの会の中で自身の健康状態を答えることによって、健康状態の自覚ができるように支援を行う。</li> <li>・脱いだ靴や靴下、上着等を自分で片づけられるように所定の場所を用意する。</li> <li>・次のことに見通しが持てるように、イラスト等を用いて活動の流れを分かりやすく表示する。</li> <li>・はじまりの会でカレンダーの確認をすることにより、日付、曜日、時間、天気等の事象に興味を持たせる。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンや体操、平均台、一本橋、滑り台等を含めたサーキット遊びを通して体の動かし方を学んだり、楽しさを感じると共に、運動能力の向上に繋げる。</li> <li>・スズランテープやスポンジ、緩衝材を取り付けたジョイントマットを活用し、足の裏の感触や様々な素材を通して五感を育む。</li> <li>・描画での大きな腕の動きや曲線を描くことを楽しむ中で、手首の力の調整を図っていく。</li> <li>・工作を通して、糊の感触を味わったり量の調節を意識したり、はさみの使用で左右の手の連動性を養う。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・些細なことを見逃さずほめていくことで、自信や自己肯定感を育む。</li> <li>・買い物ごっこや数遊びを通して、数の概念の形成に繋げる。</li> <li>・少し苦手なことも頑張ってみる等課題に向く姿勢や力を養う。</li> <li>・絵本やパネルシアター、ペープサートに触れ言葉に親しむ機会を多く設ける。</li> <li>・社会におけるルールの意味を理解し、守ることの意義を考えることができる力を養う。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけではなく、ジェスチャーや絵カードを使い、自分の気持ちを表現できるよう色々な方法を知らせていく。</li> <li>・同じ活動をみんなと一緒に行う中で、相手の存在に意識が向くよう働きかける。</li> <li>・他児との気持ちの共有を図り、時には大人が媒体となりながら気持ちの伝え方が身に付くようにしていく。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他児と一緒に楽しく過ごせるような雰囲気をつくる。</li> <li>・自分の不安や困りごとの助けを求められるように、人に対する信頼感を育んでいく。</li> <li>・思いが通らない等で気持ちが高ぶった状態の時は、ペースに合わせて関わり、気持ちの発散や切り替えの方法と一緒に考える。</li> <li>・順番を守る、簡単なルールを守るなどの集団生活におけるの基本となる行動を身に付けられるよう支援する。</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての困りごと、不安な気持ちに耳を傾け、明るい方向性を一緒に考えていく。</li> <li>・いつでも相談ができるように体制を整えていく。</li> <li>・必要に応じて関係機関と連携を取り、支援の輪を広げる。</li> </ul>				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、小学校との積極的な連携を図り、子どもと保護者の移行や入学への不安、心配事を減らす。</li> <li>・放課後等デイサービスとの交流を設ける。</li> </ul>	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育園や相談支援事業所など、本人と家族を取り巻く関係機関と積極的に関わり、情報を共有する。</li> <li>・担当者会議や子ども部会に参加し、支援を活性化するつながりを築く。</li> </ul>				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回の職員研修や、県が実施する研修に積極的に参加し、専門知識や支援スキルを向上させる。</li> <li>・児童発達支援に関連する資格の取得を支援し、専門性を高める。</li> <li>・定期的に自己評価や振り返りを行い、職員一人一人が自身のスキルや課題を把握し、支援に反映させる。</li> </ul>	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語聴覚士によるセッション ・ペアレントサポート ・ウクレレリトミック ・避難訓練</li> </ul>					